



2024年6月24日

各位

会社名 フォスター電機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 岸 和宏  
(コード 6794、東証プライム市場)  
問合せ先 IR・ガバナンス統括部長 小菅 一郎  
(TEL: 042-546-2305)

(訂正・数値データ訂正) 「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」  
及び「2024年3月期 決算説明会資料」の一部訂正に関するお知らせ

2024年5月15日に公表しました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」  
及び2024年5月22日に公表しました「2024年3月期 決算説明会資料」の記載内容  
に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 訂正理由

「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2024年3月期 決算説明  
会資料」の公表後、記載内容の一部に誤りがありましたので訂正を行うもので  
す。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_線で示しております。

「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」

(サマリー情報)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

(単位: 百万円)

	投資活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2024年3月期	<u>△5,396</u>	<u>20,216</u>

【訂正後】

(単位: 百万円)

	投資活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2024年3月期	<u>△8,539</u>	<u>17,034</u>

(添付資料 3 ページ)

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金の減少は、設備投資等により 5,396 百万円となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金の減少は、短期借入金の減少等により 4,440 百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は前連結会計年度末に比べ 6,570 百万円増加し、20,216 百万円となりました。

【訂正後】

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金の減少は、設備投資等により 8,539 百万円となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金の減少は、短期借入金の減少等により 4,440 百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は前連結会計年度末に比べ 3,387 百万円増加し、17,034 百万円となりました。

(添付資料 6 ページ)

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

【訂正前】

(単位：百万円)

負債の部	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
固定負債		
<u>資産除去債務</u>	<u>264</u>	<u>—</u>
<u>その他</u>	<u>302</u>	466

【訂正後】

(単位：百万円)

負債の部	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
固定負債		
<u>その他</u>	<u>566</u>	466

(添付資料 11 ページ)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

投資活動によるキャッシュ・フロー	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<u>定期預金の増減額 (△は増加)</u>	<u>111</u>	<u>—</u>

投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,321	<u>△5,396</u>
------------------	--------	---------------

## 【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	<u>△3,142</u>
定期預金の払戻による収入	<u>111</u>	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,321</u>	<u>△8,539</u>

(添付資料 12 ページ)

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

## 【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	747	<u>978</u>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,556	<u>6,570</u>
現金及び現金同等物の期首残高	12,089	13,646
現金及び現金同等物の期末残高	13,646	<u>20,216</u>

## 【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	747	<u>938</u>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,556	<u>3,387</u>
現金及び現金同等物の期首残高	12,089	13,646
現金及び現金同等物の期末残高	13,646	<u>17,034</u>

(添付資料 13 ページ)

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

## 【訂正前】

前連結会計年度において、「流動負債」及び「固定負債」の「その他」に含めていた「リース債務」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた 137 百万円 及び「固定負債」の「その他」に表示していた 131 百万円 は、「リース債務」として組替えております。

## 【訂正後】

前連結会計年度において、「流動負債」及び「固定負債」の「その他」に含めていた「リース債務」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた 1,506 百万円 は、「リース債務」137 百万、「その他」1,369 百万円として、「固定負債」の「その他」に表示していた 433 百万円 は、「リース債務」131 百万、「その他」302 百万円として組替えており

ます。

前連結会計年度において区分掲記しておりました「固定負債」の「資産除去債務」は、金額が僅少（当連結会計年度 24 百万円）となったため、当連結会計年度においては「固定負債」の「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」に表示していた「資産除去債務」264 百万、「その他」433 百万円は、「固定負債」の「その他」697 百万円として組替えております。

(添付資料 14 ページ、15 ページ)

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【訂正前】

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2022年 4 月 1 日 至 2023年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			

【訂正後】

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2022年 4 月 1 日 至 2023年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			

【訂正前】

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度（自 2023年 4 月 1 日 至 2024年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			

【訂正後】

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度（自 2023年 4 月 1 日 至 2024年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	スピーカー事業	モバイルオー ディオ事業	その他事業			

「2024年3月期 決算説明会資料」

(9 ページ)

キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

24.3 期末のフリーキャッシュ・フローは、100.3 億円

(単位：百万円)

	24.3 期	増減額
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△5,396</u>	<u>△4,074</u>
フリーキャッシュ・フロー	<u>10,031</u>	<u>10,999</u>
現金及び現金同等物の増減額	<u>6,570</u>	<u>5,013</u>

現金及び現金同等物の期末残高	<u>20,216</u>	<u>6,570</u>
----------------	---------------	--------------

【訂正後】

24.3 期末のフリーキャッシュ・フローは、68.8 億円

(単位：百万円)

	24.3 期	増減額
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△8,539</u>	<u>△7,217</u>
フリーキャッシュ・フロー	<u>6,889</u>	<u>7,856</u>
現金及び現金同等物の増減額	<u>3,387</u>	<u>1,830</u>

現金及び現金同等物の期末残高	<u>17,034</u>	<u>3,387</u>
----------------	---------------	--------------

(33 ページ)

四半期 貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

【訂正前】

	24.3 期 4Q
投資活動による CF	<u>△1,283</u>
CF に係る換算差額	<u>397</u>

CF の増減額	<u>1,349</u>
CF の期末残高	<u>20,216</u>

【訂正後】

	24.3 期 4Q
投資活動による CF	<u>△4,426</u>
CF に係る換算差額	<u>357</u>

CF の増減額	<u>△1,834</u>
CF の期末残高	<u>17,034</u>

訂正後の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」及び「2024年3月期 決算説明会資料」は別紙のとおりです。

以 上



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 フォスター電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6794 URL <https://www.foster.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸 和宏  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・ガバナンス統括部長 (氏名) 小菅 一郎 TEL 042-546-2305  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	122,447	0.9	4,412	80.4	4,305	84.9	2,304	171.7
2023年3月期	121,338	33.2	2,445	—	2,327	—	848	—

(注) 包括利益 2024年3月期 8,236百万円 (64.3%) 2023年3月期 5,013百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	103.70	—	4.2	4.4	3.6
2023年3月期	38.23	—	1.7	2.6	2.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	102,747	64,319	56.5	2,606.90
2023年3月期	92,871	56,515	55.0	2,302.49

(参考) 自己資本 2024年3月期 58,004百万円 2023年3月期 51,095百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	15,428	△8,539	△4,440	17,034
2023年3月期	354	△1,321	1,776	13,646

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	447	52.3	0.9
2024年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00	559	24.1	1.0
2025年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		29.6	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	6.1	5,500	24.6	5,000	15.0	3,000	27.3	134.83

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	25,000,000株	2023年3月期	25,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	2,749,532株	2023年3月期	2,808,421株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	22,227,254株	2023年3月期	22,188,152株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	55,394	7.4	△1,086	—	825	—	470	—
2023年3月期	51,576	20.5	△1,676	—	△904	—	△1,016	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	21.18	—
2023年3月期	△45.81	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	46,802	17,507	37.4	786.82
2023年3月期	42,500	17,003	40.0	766.22

(参考) 自己資本 2024年3月期 17,507百万円 2023年3月期 17,003百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16



## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期における世界経済は、約3年にわたる新型コロナウイルス感染拡大の終息により、経済活動が正常化する一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・パレスチナ紛争等の地政学リスクの高まりが継続している状況です。また、先進国ではインフレが落ち着きつつあるものの、米欧での政策金利は依然高止まりし、さらには中国経済の減速等もあり、引き続き世界情勢は先行き不透明な状況が続いています。

当社グループが注力する自動車関連市場では、半導体不足も緩和されたことから自動車生産や販売は回復基調が続きました。そのような中、市場では電気自動車(EV)へのシフトが継続し、自動運転技術についても進化を続けていること等から、今後も需要は継続し、底堅く推移することが見込まれます。

こうした中、当社グループは車載関連ビジネスの受注活動において、ビジネスの核となるパートナー戦略にてターゲット顧客への提案活動を一層強化しており、中期事業計画完了時(2025年3月期)の受注を確保いたしました。モバイルオーディオ事業においては、当社の高い品質を武器に事業展開を行っており、アクチュエータについて受注を確保し、イヤホンドライバや車載用ヘッドホンと併せて、通期で利益を確保しました。また、他社との共同開発を含めた協業や研究開発型ビジネスは、将来性を見極めながら推進しております。

生産体制面では、米中対立の先鋭化も視野に入れ、ベトナム・ビンズオン工場にてスピーカ生産を開始する準備を行っていますが、新機種への対応も勘案し、2025年度上期からスピーカの量産を開始予定です。

加えて地産地消推進の観点から、欧州・ハンガリーの生産子会社において、2024年度下期からスピーカ生産を開始予定です。本施策は物流面でのCO2削減にも寄与します。また、機械化・省人化・自動化による製造効率改善や、競争力向上に向けた部材調達の外購・内製化比率の最適化にも取り組んでおります。

高騰した原材料費・部材費や物流費への対応に関しては、継続的な原価改善と固定費圧縮に加え、グローバルロジスティクス体制を強化し、需要動向を的確に捉え、適切な水準での在庫管理に取り組んでおります。また、昨今の中東情勢悪化の影響から一部の海上運賃が高騰し、当初の想定よりもコストアップしている案件も発生しておりますが、多くのお客様からコストの価格転嫁のご理解をいただいていることから、十分コントロール可能な体制となっており、市況に左右されにくい収益体質が構築できております。

以上の結果、当期連結業績における売上高は122,447百万円(前期比0.9%増)、営業利益は4,412百万円(前期比80.4%増)、経常利益は4,305百万円(前期比84.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,304百万円(前期比171.7%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### [スピーカ事業]

自動車関連市場は、販売回復基調が続く中、第1四半期において一部顧客においてサプライチェーン混乱時に積み増した在庫調整に伴う出荷数量の減少があったものの、パートナー戦略にてターゲット顧客への販売活動を推進した結果、売上高は99,175百万円(前期比0.1%増)となりました。損益面では、一過性の空輸費用の減少ならびに継続的な原価改善策等の結果、営業利益は4,218百万円(前期比110.5%増)となりました。

#### [モバイルオーディオ事業]

民生用アクチュエータが、一部出荷数量の調整があったものの通期で受注を確保し、イヤホンドライバや車載用ヘッドホンの販売に注力した結果、売上高は14,197百万円(前期比3.4%減)となりました。損益面では、営業利益は607百万円(前期比49.6%減)となりました。

#### [その他事業]

小型音響部品事業や「フォステクス」ブランドの製品を含むその他事業は、接近通報音用スピーカ等の販売が堅調だったこともあり、売上高は9,074百万円(前期比20.1%増)となりました。一方、損益面では、製造体制の最適化を図るため、当社が小型音響部品事業について製造委託している南華天星電子(深圳)有限公司から当社中国工場への生産移管計画に関わる費用が発生したことから、412百万円(前期は営業損失762百万円)の営業損失となりました。

(注) 当期より、上記セグメント別の売上高は、セグメント間取引消去後の数値で記載しています。

### (2) 当期の財政状態の概況

総資産は、主に現預金の増加により前連結会計年度末に比べ9,876百万円増加して102,747百万円となりました。負債は、主に調達構造の見直しに向けた長期借入金の増加により前連結会計年度末に比べ2,072百万円増加して38,428百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定の増加により前連結会計年度末に比べ

7,804百万円増加して64,319百万円となりました。また自己資本比率は、前連結会計年度末比1.4ポイント増の56.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金の増加は、棚卸資産の減少等により15,428百万円となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金の減少は、設備投資等により8,539百万円となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金の減少は、短期借入金の減少等により4,440百万円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は前連結会計年度末に比べ3,387百万円増加し、17,034百万円となりました。

(4) 今後の見通し

世界経済は、地政学リスク、世界的なインフレ・物価高や金利上昇、中国経済の減速懸念等、今後も不透明な状況が続くと見込まれます。

一方で、当社グループが注力する自動車関連市場は、今後も堅調に推移するものと見込まれます。EV市場については、足許の伸びが鈍化しているものの、EVシフトの流れが今後も継続すると見込まれ、自動運転を含めた新技術の取り組みによる付加価値創出により、新たなビジネス機会としてさらなる成長期待が高まっている状況です。

以上のような情勢下、当社グループは「未来社会に音で貢献する」をビジョンとして掲げ、「音に関わる製品やソリューションを通して、世界中により快適な生活やコミュニケーションの喜びを提供し社会から期待される企業になる」ことをミッションとし、業界での地位を確固たるものにするるとともに、グローバル企業としてさらなる事業の充実と企業価値の向上を図りながら、持続的な成長を実現するための体制づくりを推進します。

取り巻く環境は、不透明な状況が続くものの、2025年3月期は中期事業計画の最終年度として、計画の完遂に向けた施策を講じていきます。また、計画の達成に向けた課題を明確にし、迅速に対処することで生産性・効率性の向上に努めます。

具体的には、主に以下の方針のもと諸施策を実施します。

【基本方針】

中期事業計画達成の年

【方策】

1. 次期中期事業計画に向けての積極的ビジネス拡大
2. 新製品・新技術への取り組み強化
3. 車載業務品質の徹底
4. 業務・構造改革と徹底的な競争力強化
5. ESG経営の推進

当社グループは、社員一人ひとりが新しい技術への挑戦、成長への執念、変化への柔軟な対応、地道な改善努力を忘れず、常に前向きな姿勢を保ちつつ、皆で丸となって業務に取り組んでいきます。そして、社会や市場の中で信頼され、必要とされる企業になるためにESG経営を着実に続けていきます。

2025年3月期 通期の連結業績につきましては、次のとおり予想しています。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
130,000百万円	5,500百万円	5,000百万円	3,000百万円

\*上記予想の前提として 為替レートは1US\$=145円、1ユーロ=155円を想定しています。

[注] 業績予想に関する留意事項

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要因に関する現時点における仮定等に基づいて算定していますが、実際の業績結果は、当社グループの事業領域を取り巻く経済状況・関連市場やOEM得意先の景況、国内外の競合状況・価格競争の動向、原材料市況、為替相場、海外展開上のリスク、国内外の法規制、災害・事故、株価等、様々な要因によって上記予想・見込みとは異なる

るものとなる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、企業価値の向上を経営課題としつつ、業績に対応した利益配分と長期的な視野に立った内部留保の充実との調和を図りながら、総合的に株主利益の向上を図ることを基本的な方針とし、連結ベースでの配当性向30%以上を目標としています。

当期の利益配当につきましては、将来の内部留保の備え、配当の基本方針等を総合的に勘案した結果、期末配当金につきましては、15円とさせていただきますこととしました。これにより、年間配当金は、中間配当金1株当たり10円を含めて、1株当たり25円となります。

また、次期の配当につきましては、現在の経営環境や今後の業績見通しを勘案して、年間で1株当たり40円を予定しています。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

一方で、将来のIFRS適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,646	20,216
受取手形及び売掛金	24,988	24,934
電子記録債権	482	865
有価証券	—	649
製品	20,037	18,357
原材料	8,195	7,908
仕掛品	1,492	1,539
貯蔵品	137	140
未収入金	813	1,673
前渡金	3,096	367
その他	1,173	2,381
貸倒引当金	△169	△109
流動資産合計	73,893	78,925
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,585	16,964
減価償却累計額	△7,866	△8,873
建物及び構築物（純額）	6,718	8,091
機械装置及び運搬具	19,367	21,681
減価償却累計額	△15,244	△17,123
機械装置及び運搬具（純額）	4,122	4,557
工具、器具及び備品	12,665	12,277
減価償却累計額	△10,901	△10,390
工具、器具及び備品（純額）	1,764	1,887
土地	1,575	3,404
建設仮勘定	848	1,437
有形固定資産合計	15,030	19,377
無形固定資産		
ソフトウェア	81	189
その他	132	147
無形固定資産合計	214	336
投資その他の資産		
投資有価証券	1,446	2,162
長期前払費用	82	82
退職給付に係る資産	1,313	1,344
繰延税金資産	669	306
その他	221	212
投資その他の資産合計	3,732	4,108
固定資産合計	18,977	23,822
資産合計	92,871	102,747

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,380	12,169
短期借入金	17,156	10,571
1年内返済予定の長期借入金	300	775
未払金	2,909	3,135
リース債務	137	483
未払法人税等	839	762
未払費用	2,274	2,288
賞与引当金	432	537
その他	1,369	1,175
流動負債合計	34,799	31,899
固定負債		
長期借入金	—	3,781
繰延税金負債	564	681
リース債務	131	1,326
退職給付に係る負債	81	108
役員退職慰労引当金	24	27
株式給付引当金	188	137
その他	566	466
固定負債合計	1,556	6,529
負債合計	36,356	38,428
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,770	6,770
資本剰余金	6,896	6,896
利益剰余金	34,531	36,364
自己株式	△4,152	△4,042
株主資本合計	44,045	45,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385	803
為替換算調整勘定	6,687	11,345
退職給付に係る調整累計額	△22	△134
その他の包括利益累計額合計	7,050	12,014
非支配株主持分	5,419	6,314
純資産合計	56,515	64,319
負債純資産合計	92,871	102,747

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	121,338	122,447
売上原価	105,182	103,610
売上総利益	16,155	18,836
販売費及び一般管理費	13,709	14,424
営業利益	2,445	4,412
営業外収益		
受取利息	116	183
受取配当金	64	69
補助金収入	75	6
為替差益	211	334
雑収入	327	279
営業外収益合計	794	875
営業外費用		
支払利息	511	645
固定資産除却損	143	85
借入手数料	-	78
雑損失	257	173
営業外費用合計	912	982
経常利益	2,327	4,305
特別利益		
固定資産売却益	71	707
資産除去債務戻入益	-	133
特別利益合計	71	841
特別損失		
減損損失	67	-
特別退職金	253	-
経済補償金	-	488
特別損失合計	321	488
税金等調整前当期純利益	2,078	4,658
法人税、住民税及び事業税	887	1,475
法人税等調整額	△40	△25
法人税等合計	846	1,450
当期純利益	1,231	3,207
非支配株主に帰属する当期純利益	382	902
親会社株主に帰属する当期純利益	848	2,304

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,231	3,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	418
為替換算調整勘定	3,457	4,785
退職給付に係る調整額	263	△174
その他の包括利益合計	3,782	5,028
包括利益	5,013	8,236
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,145	7,269
非支配株主に係る包括利益	867	967

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,770	6,896	33,906	△4,163	43,409
当期変動額					
剰余金の配当			△223		△223
親会社株主に帰属する当期純利益			848		848
自己株式の取得				—	—
自己株式の処分				10	10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	624	10	635
当期末残高	6,770	6,896	34,531	△4,152	44,045

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	323	3,617	△187	3,753	4,469	51,632
当期変動額						
剰余金の配当						△223
親会社株主に帰属する当期純利益						848
自己株式の取得						—
自己株式の処分						10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	61	3,070	165	3,297	950	4,247
当期変動額合計	61	3,070	165	3,297	950	4,882
当期末残高	385	6,687	△22	7,050	5,419	56,515



当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,770	6,896	34,531	△4,152	44,045
当期変動額					
剰余金の配当			△447		△447
親会社株主に帰属する当期純利益			2,304		2,304
自己株式の取得				△69	△69
自己株式の処分			△24	179	155
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	1,833	110	1,944
当期末残高	6,770	6,896	36,364	△4,042	45,989

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	385	6,687	△22	7,050	5,419	56,515
当期変動額						
剰余金の配当						△447
親会社株主に帰属する当期純利益						2,304
自己株式の取得						△69
自己株式の処分						155
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	418	4,657	△111	4,964	895	5,859
当期変動額合計	418	4,657	△111	4,964	895	7,804
当期末残高	803	11,345	△134	12,014	6,314	64,319

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,078	4,658
減価償却費	3,565	3,197
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△403	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	22
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	76	△79
賞与引当金の増減額 (△は減少)	26	100
有形固定資産除却損	143	85
有形固定資産売却損益 (△は益)	△71	△707
借入手数料	—	78
補助金収入	△75	△6
減損損失	67	—
経済補償金	—	488
特別退職金	253	—
資産除去債務戻入益	—	△133
受取利息及び受取配当金	△180	△253
支払利息	511	645
為替差損益 (△は益)	1,237	183
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,976	1,279
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,558	4,231
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,695	1,990
未収入金の増減額 (△は増加)	430	△801
未払金の増減額 (△は減少)	△1,149	△9
前渡金の増減額 (△は増加)	△2,201	2,990
その他	1,954	△14
小計	1,168	17,944
利息及び配当金の受取額	180	253
利息の支払額	△511	△645
補助金の受取額	75	6
経済補償金の支払額	—	△488
特別退職金の支払額	△253	—
法人税等の支払額	△741	△1,672
法人税等の還付額	435	28
営業活動によるキャッシュ・フロー	354	15,428
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△636
有価証券の償還による収入	1,042	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△150
有形固定資産の取得による支出	△2,530	△4,761
有形固定資産の売却による収入	201	327
無形固定資産の取得による支出	△29	△48
長期前払費用の取得による支出	△68	△130
定期預金の預入による支出	—	△3,142
定期預金の払戻による収入	111	—
その他	△47	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,321	△8,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	4,750
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,818	△7,653
長期借入金の返済による支出	△818	△493
配当金の支払額	△223	△447
非支配株主への配当金の支払額	—	△150
借入手数料支出	—	△78
自己株式の取得による支出	—	△0
その他	—	△366
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,776	△4,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	747	938
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,556	3,387
現金及び現金同等物の期首残高	12,089	13,646
現金及び現金同等物の期末残高	13,646	17,034

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「流動負債」及び「固定負債」の「その他」に含めていた「リース債務」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた1,506百万円は、「リース債務」137百万、「その他」1,369百万円として、「固定負債」の「その他」に表示していた433百万円は、「リース債務」131百万、「その他」302百万円として組替えております。

前連結会計年度において区分掲記しておりました「固定負債」の「資産除去債務」は、金額が僅少（当連結会計年度24百万円）となったため、当連結会計年度においては「固定負債」の「その他」に含めております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」に表示していた「資産除去債務」264百万、「その他」433百万円は、「固定負債」の「その他」697百万円として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は事業組織、提供する製品の内容及び販売市場の類似性等により事業セグメントを識別しており、「スピーカ事業」、「モバイルオーディオ事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしています。

「スピーカ事業」は、車載用スピーカ・スピーカシステム、薄型テレビ用スピーカ・スピーカシステムや、オーディオ用等のスピーカ製品の製造・販売をしています。

「モバイルオーディオ事業」は、携帯電話用ヘッドセット、ヘッドホン、小型スピーカ、振動アクチュエータ等のモバイルオーディオ製品の製造・販売をしています。「その他事業」は、警報音用等のブザー・サウンド等の小型音響部品、「フォステクス」ブランドの製品の製造・販売並びに物流サービス等の提供をしています。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	99,087	14,691	7,558	121,338	—	121,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,845	2,845	△2,845	—
計	99,087	14,691	10,403	124,183	△2,845	121,338
セグメント利益又は損失 (△)	2,004	1,203	△762	2,445	△0	2,445
セグメント資産	54,733	7,884	7,611	70,228	22,642	92,871
その他の項目						
(1) 減価償却費	2,497	821	246	3,565	—	3,565
(2) 減損損失	5	39	22	67	—	67
(3) 持分法適用会社への投資額	—	—	—	—	—	—
(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,092	282	184	2,559	—	2,559

(注) 1 調整額は以下のとおりです。

(1)セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

(2)セグメント資産の調整額22,642百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものです。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

「スピーカ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を5百万円計上しています。

「モバイルオーディオ事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を39百万円計上しています。

「その他事業」セグメントにおいて、事業用資産に係る固定資産の減損損失を22百万円計上しています。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	スピーカ事業	モバイルオーディオ事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	99,175	14,197	9,074	122,447	—	122,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,175	3,175	△3,175	—
計	99,175	14,197	12,250	125,623	△3,175	122,447
セグメント利益又は損失 (△)	4,218	607	△412	4,412	—	4,412
セグメント資産	56,745	7,962	8,832	73,540	29,206	102,747
その他の項目						
(1) 減価償却費	2,566	296	334	3,197	—	3,197
(2) 減損損失	—	—	—	—	—	—
(3) 持分法適用会社への投資額	—	—	149	149	—	149
(4) 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	3,590	609	609	4,810	—	4,810

(注) 1 調整額は以下のとおりです。

(1)セグメントの調整額は、セグメント間取引の消去です。

(2)セグメント資産の調整額29,206百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものです。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,302.49円	2,606.90円
1株当たり当期純利益	38.23円	103.70円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	848	2,304
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	848	2,304
普通株式の期中平均株式数(株)	22,188,152	22,227,254

(注) 3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	56,515	64,319
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	5,419	6,314
(うち非支配株主持分(百万円))	(5,419)	(6,314)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	51,095	58,004
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	22,191,579	22,250,468

(注) 4. 「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)が所有する当社株式を、1株当たり純資産の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めています(前連結会計年度末158,597株、当連結会計年度末162,497株)。

また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています(前連結会計年度162,636株、当連結会計年度130,587株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

# 2024年3月期 決算説明会

フォスター電機株式会社  
(プライム市場：6794)  
2024年5月23日



I. 2024年3月期 決算概要	P. 2
II. 2024年3月期総括と2025年3月期予想	P.11
III. 次期中期事業計画における成長戦略の方向性	P.20
IV. 参考資料	P.25

# I. 2024年3月期 決算概要

---

# 2024年3月期業績

FOSTER®

(百万円)

	23.3期	24.3期	増減額	増減率	24.3期 修正予想	差額	達成率
売上高	121,338	<b>122,447</b>	<b>1,109</b>	0.9%	120,000	2,447	102.0%
営業利益	2,445	<b>4,412</b>	<b>1,966</b>	80.4%	4,000	412	110.3%
売上高営業利益率	2.0%	<b>3.6%</b>			3.3%		
経常利益	2,327	<b>4,305</b>	<b>1,977</b>	84.9%	3,500	805	123.0%
売上高経常利益率	1.9%	<b>3.5%</b>			2.9%		
当期純利益*	848	<b>2,304</b>	<b>1,456</b>	171.7%	2,000	304	115.2%
売上高当期純利益率*	0.7%	<b>1.9%</b>			1.7%		
一株利益	38.23円	<b>103.70円</b>	65.47円	171.3%	90.05円	13.65円	115.2%
一株配当	20.00円	<b>25.00円</b>	5.0円	25%	25.00円	0円	
配当性向	52.3%	<b>24.1%</b>					
ROE	1.7%	<b>4.2%</b>					
為替レート：米ドル	136.00円/\$	<b>145.31円/\$</b>					
：ユーロ	141.58円/€	<b>157.70円/€</b>					

\*親会社株主に帰属する当期純利益、親会社株主に帰属する売上高当期純利益率

(百万円)

		23.3期	構成比	24.3期	構成比	増減率
	売上高	121,338		<b>122,447</b>		0.9%
	営業利益	2,445		<b>4,412</b>		80.4%
	営業利益率	2.0%		<b>3.6%</b>		
SP (スピーカ) 事業	売上高	99,087	81.7%	<b>99,175</b>	81.0%	0.1%
	営業利益	2,004	—	<b>4,218</b>		110.5%
	営業利益率	2.0%		<b>4.3%</b>		
MA (モバイルオーディオ) 事業	売上高	14,691	12.1%	<b>14,197</b>	11.6%	△3.4%
	営業利益	1,203	—	<b>607</b>		△49.6%
	営業利益率	8.2%		<b>4.3%</b>		
その他事業	売上高	7,558	6.2%	<b>9,074</b>	7.4%	20.1%
	営業利益	△762	—	<b>△412</b>		—
	営業利益率	△10.1%		<b>△4.5%</b>		

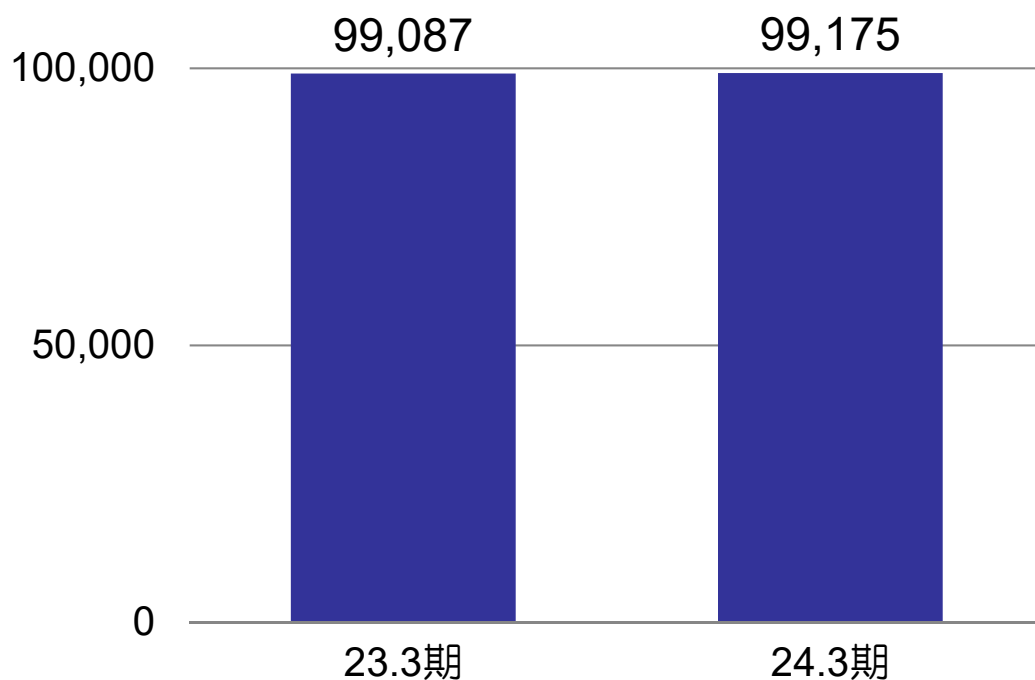
※ 上記構成比は、セグメント間取引消去後の数値で算出しています。(次ページ以降同様)  
消去額23.3期：その他事業2,845百万円、24.3期：その他事業3,175百万円

# セグメント別概況（SP事業）

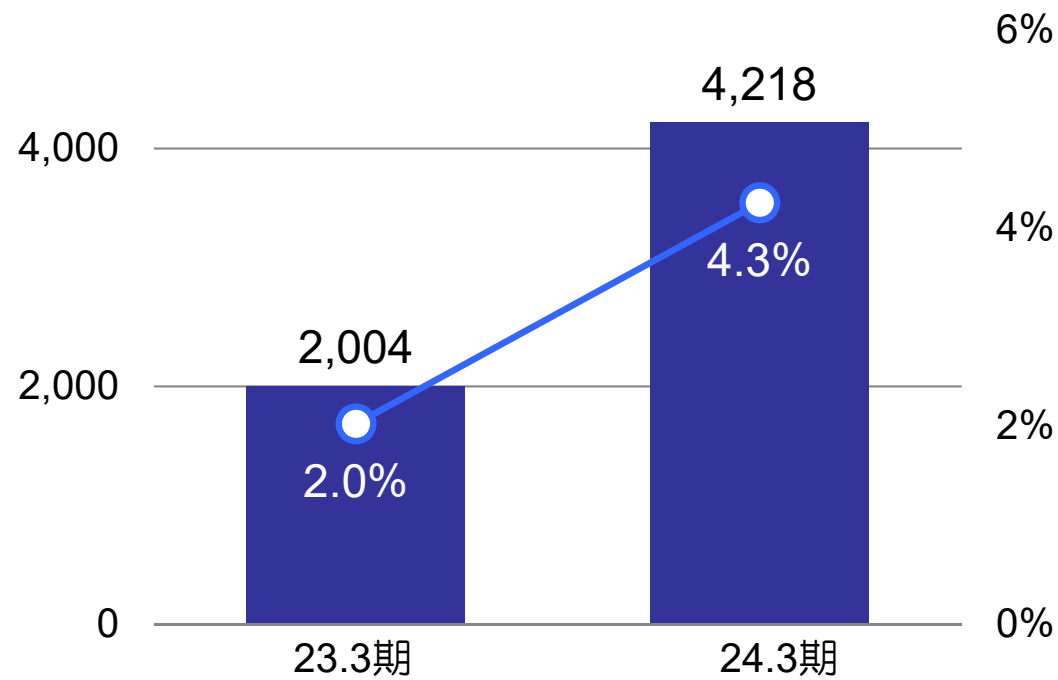
- 自動車関連市場は販売回復基調が続き、売上高は微増
- 継続的な原価改善を行ったことにより営業利益は大幅増益

		(百万円)			
		23.3期	24.3期	構成比	増減率
SP（スピーカ）事業	売上高	99,087	<b>99,175</b>	81.0%	0.1%
	営業利益	2,004	<b>4,218</b>		110.5%
	営業利益率	2.0%	<b>4.3%</b>		

売上高（百万円）



営業利益・利益率（百万円）

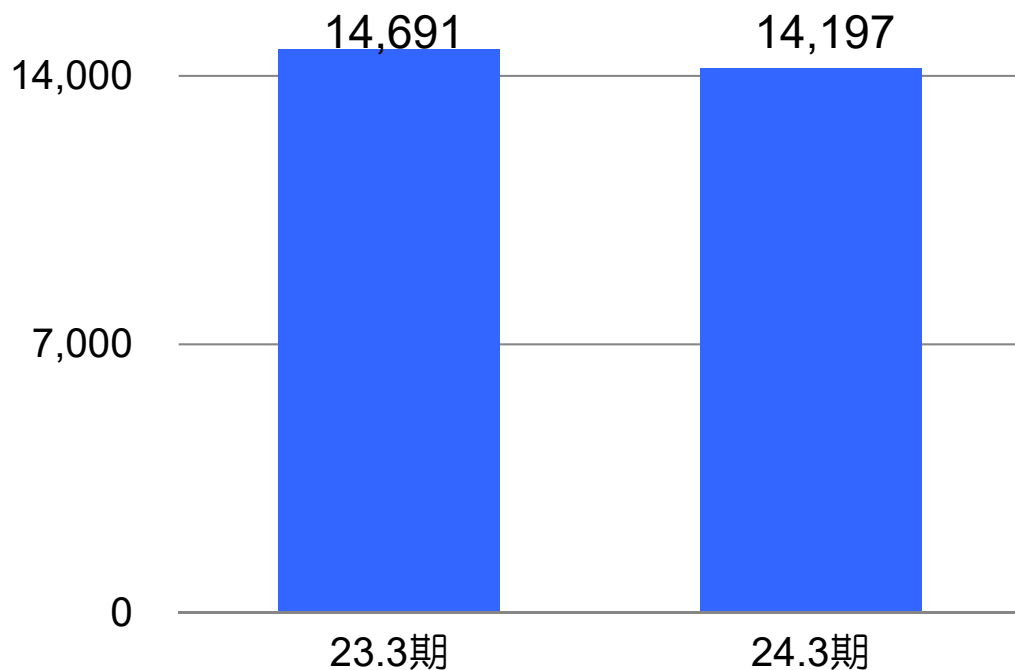


- 民生用アクチュエータは出荷数量の調整があったため売上高は減収
- 出荷数量調整の影響をうけて営業利益は減益

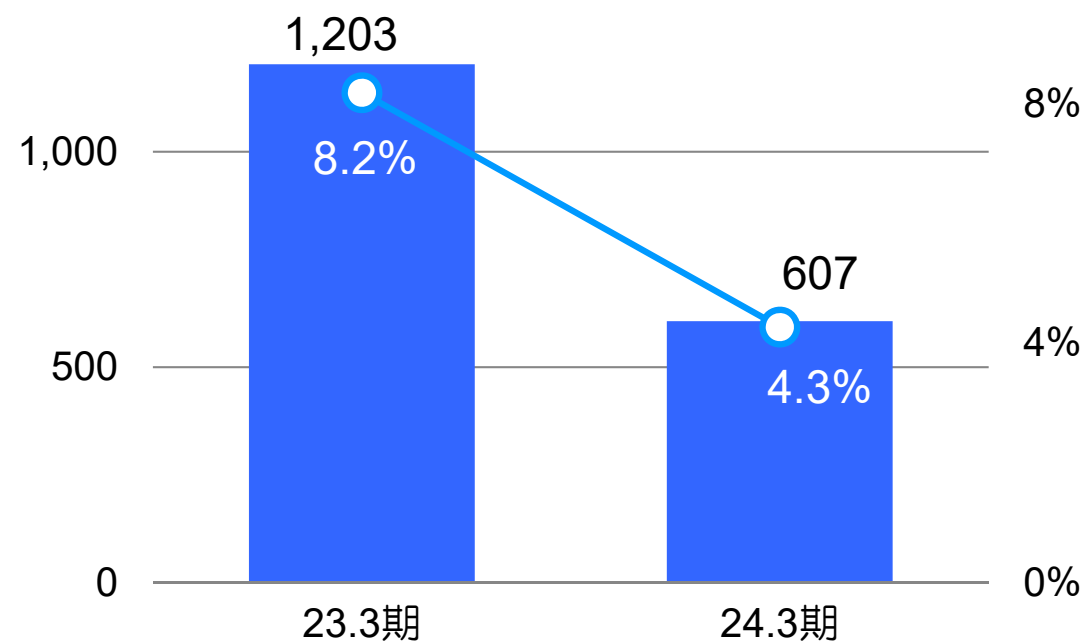
(百万円)

		23.3期	24.3期	構成比	増減率
MA（モバイルオーディオ）事業	売上高	14,691	<b>14,197</b>	11.6%	△3.4%
	営業利益	1,203	<b>607</b>		△49.6%
	営業利益率	8.2%	<b>4.3%</b>		

売上高（百万円）



営業利益・利益率（百万円）

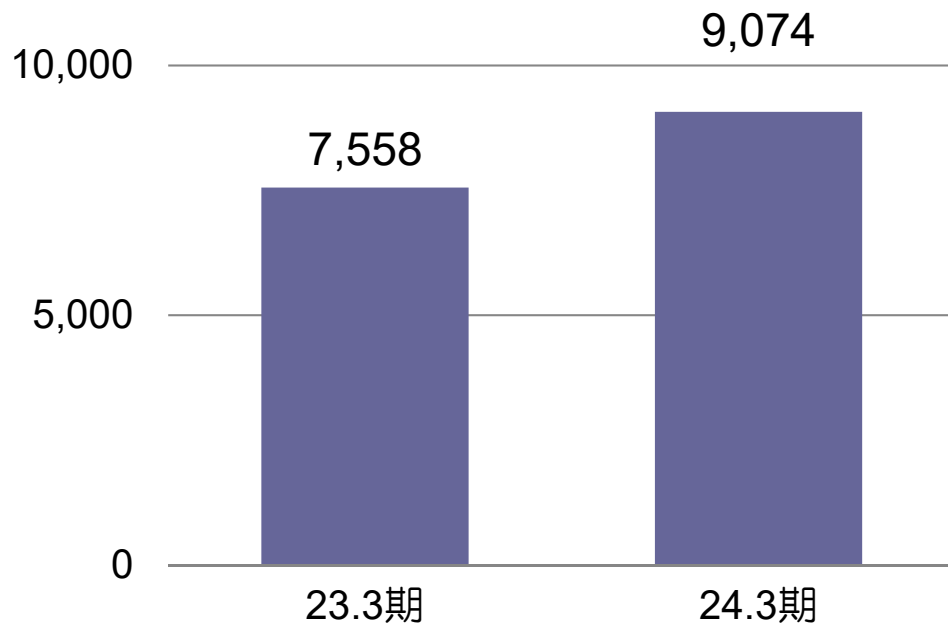


- 接近通報音用スピーカ等の販売が好調で売上高は増収
- 中国での生産移管計画に関わる費用計上があり営業損失

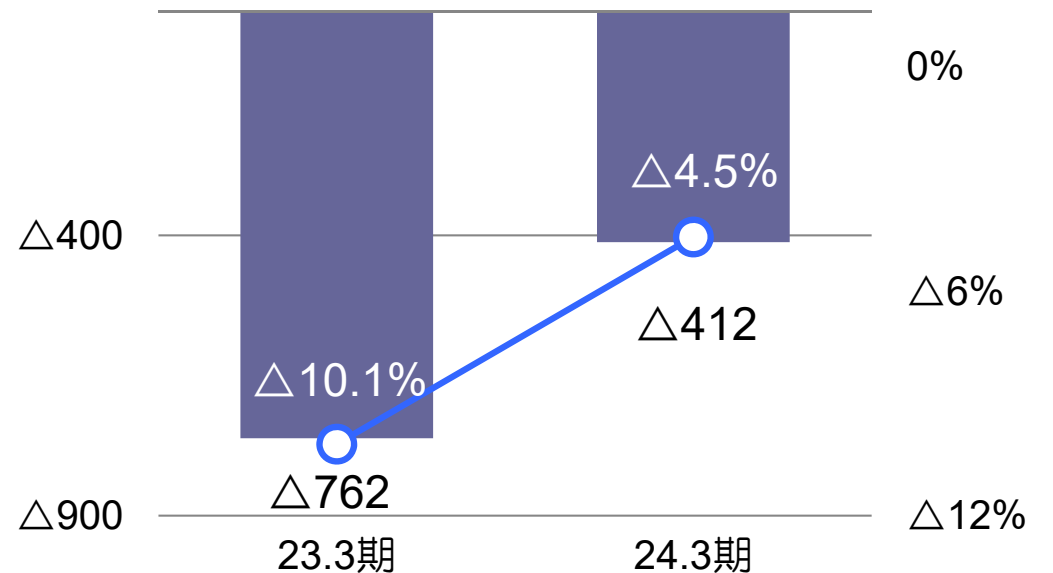
(百万円)

		23.3期	24.3期	構成比	増減率
その他事業	売上高	7,558	<b>9,074</b>	7.4%	20.1%
	営業利益	△762	<b>△412</b>		—
	営業利益率	△10.1%	<b>△4.5%</b>		

売上高（百万円）



営業利益・利益率（百万円）



## 24.3期末の自己資本比率は56.5%（23.3期末55.0%）

	23.3期	24.3期	増減額
			(百万円)
流動資産	73,893	78,925	5,032
現金・預金	13,646	20,216	6,570
受取手形・売掛金	25,470	25,799	329
棚卸資産	29,862	27,945	△ 1,916
その他	4,913	4,963	49
固定資産	18,977	23,822	4,844
有形固定資産	15,030	19,377	4,346
無形固定資産	214	336	122
投資・その他の資産	3,732	4,108	375
資産合計	92,871	102,747	9,876
流動負債	34,799	31,899	△ 2,900
支払手形・買掛金	9,380	12,169	2,788
短期借入金	17,156	10,571	△ 6,584
1年以内長期借入金	300	775	475
その他	7,962	8,383	420
固定負債	1,556	6,529	4,973
長期借入金	-	3,781	3,781
その他	1,556	2,748	1,191
純資産	56,515	64,319	7,804
株主資本	44,045	45,989	1,944
その他の包括利益合計額	7,050	12,014	4,964
非支配株主持分	5,419	6,314	895
負債・純資産合計	92,871	102,747	9,876



24.3期末のフリーキャッシュ・フローは、68.8億円

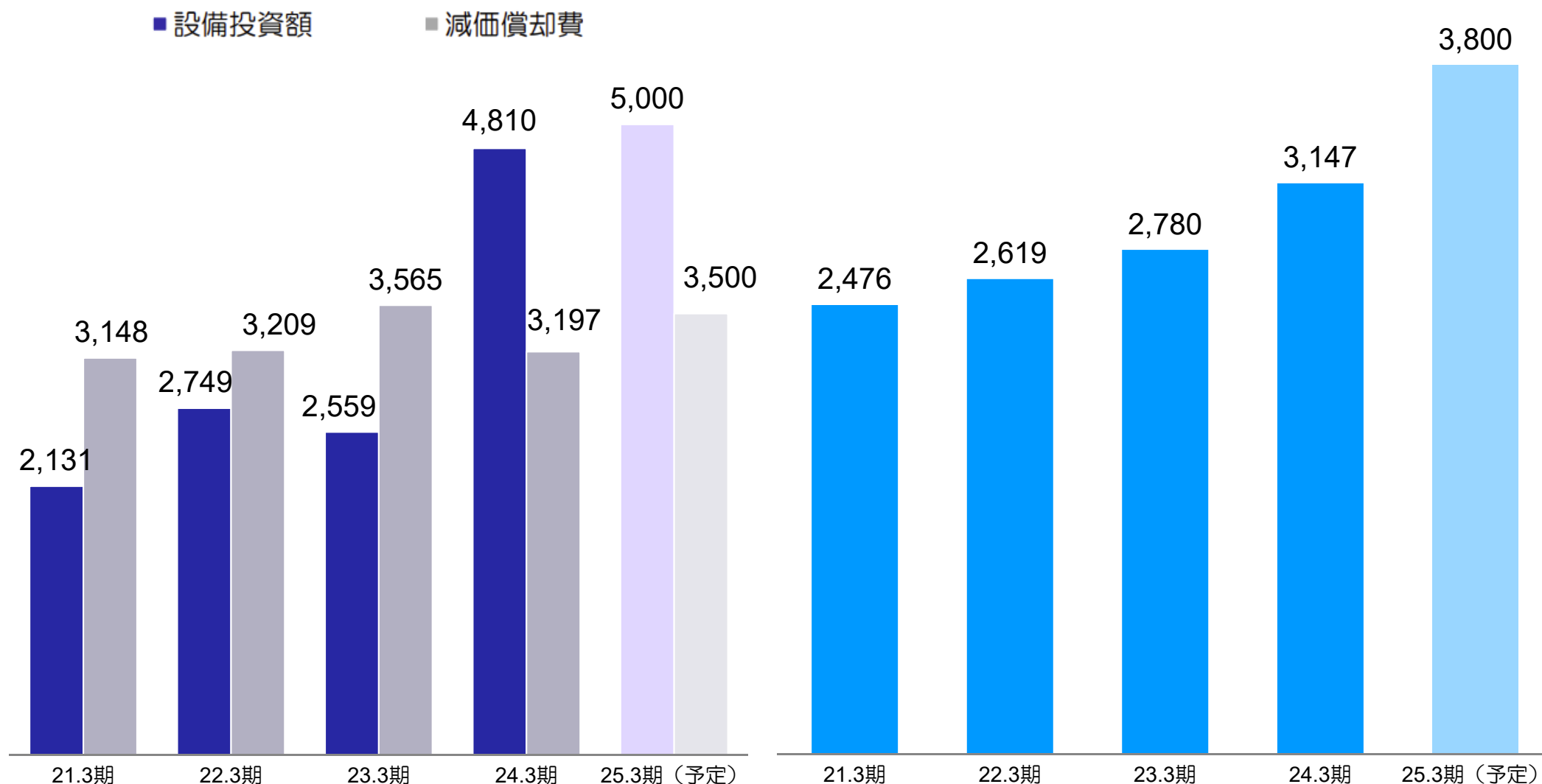
(百万円)

	23.3期	24.3期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	354	<b>15,428</b>	15,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,321	<b>△8,539</b>	△7,217
フリーキャッシュ・フロー*	△967	<b>6,889</b>	7,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,776	<b>△4,440</b>	△6,216
現金及び現金同等物の増減額	1,556	<b>3,387</b>	1,830
現金及び現金同等物の期末残高	13,646	<b>17,034</b>	3,387

\*「フリーキャッシュ・フロー」＝「営業活動によるキャッシュ・フロー」＋「投資活動によるキャッシュ・フロー」

## 設備投資額及び減価償却費（百万円）

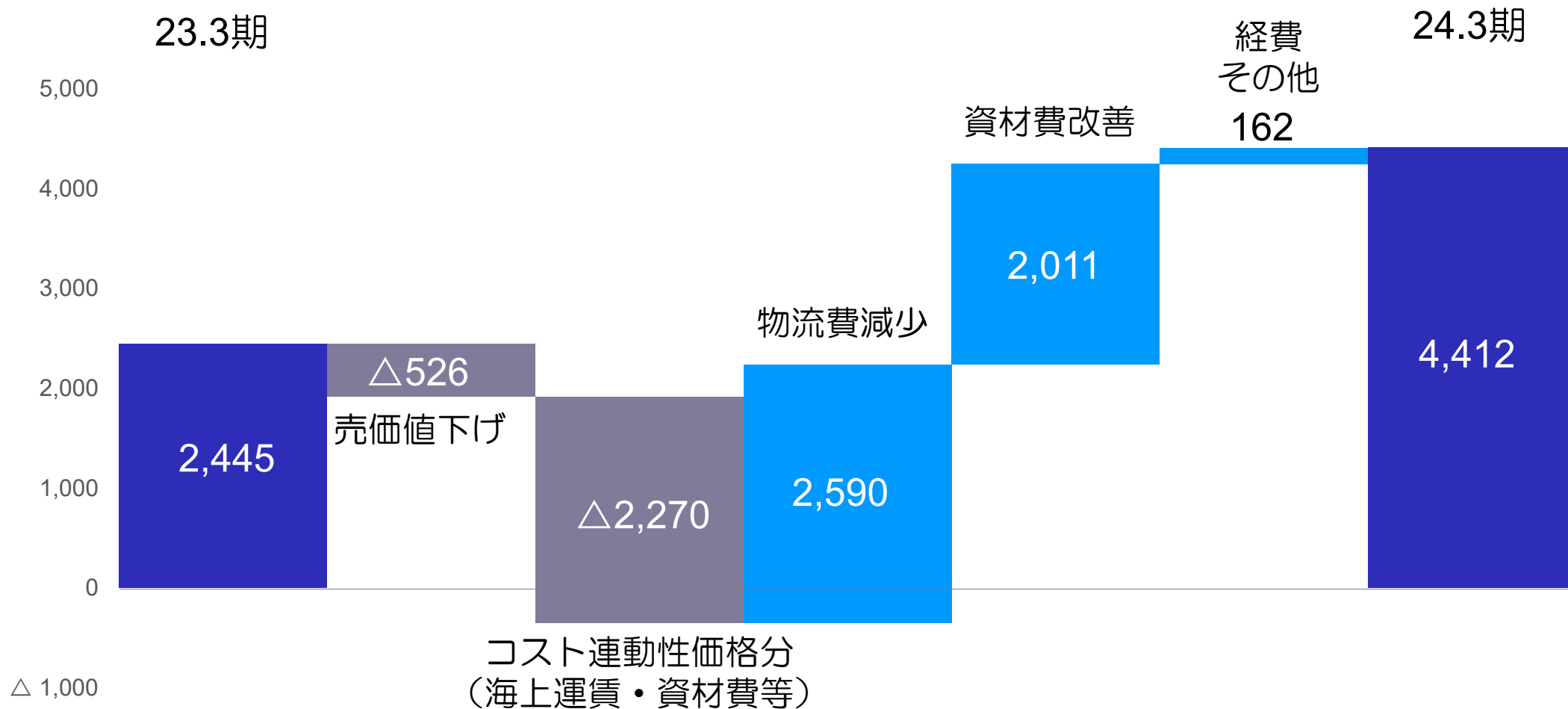
## 研究開発費（百万円）



## II. 2024年3月期総括と2025年3月期予想

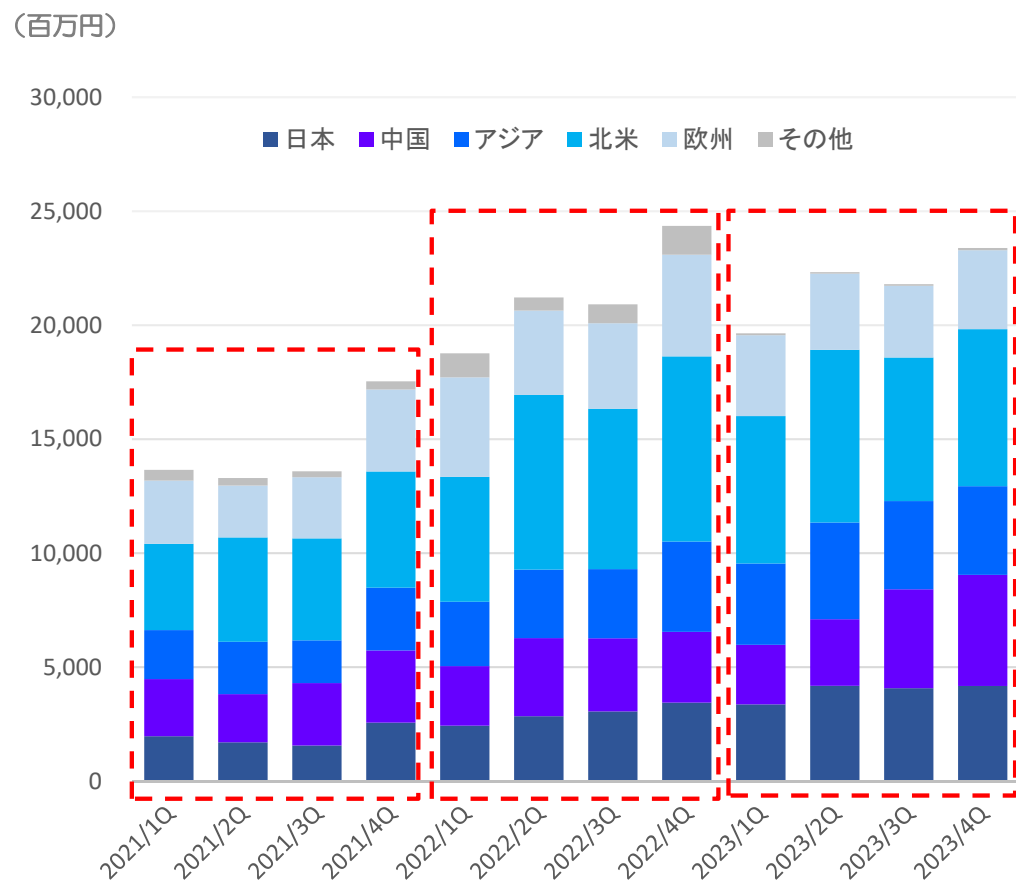
- 1 半導体不足の緩和、EVの生産・販売拡大等により自動車販売回復基調の中、パートナー戦略・適切な在庫管理・原価改善等の推進により、増収・増益を確保
- 2 車載用スピーカは、一部在庫調整の影響はあったものの、高品質で安定した量産の強みを活かし、増収・増益
- 3 モバイルオーディオ事業は、一部顧客のアクチュエータの出荷数量に調整があったものの、利益を確保。研究開発型ビジネスは波があり将来性を見極めた上で推進
- 4 その他事業は、接近通報音用スピーカの販売は堅調も、小型音響部品事業について、中国での製造体制見直しにより外部委託を内製化したことに伴う費用発生し、赤字計上

（百万円）



- 車載用スピーカの出荷数量は計画通りに進捗
- 各地域別では日本、中国、アジアで伸長

## 車載用スピーカ（地域別）四半期売上高推移



## 車載用スピーカ地域別売上高前期比較



## 中期事業計画の最終年度の目標を必達すべく増収・増益を計画

(百万円)

	24.3期	25.3期予想	増減額	増減率
売上高	122,447	<b>130,000</b>	7,553	6.2%
営業利益	4,412	<b>5,500</b>	1,088	24.7%
売上高営業利益率	3.6%	<b>4.2%</b>		
経常利益	4,305	<b>5,000</b>	695	16.1%
売上高経常利益率	3.5%	<b>3.8%</b>		
当期純利益	2,304	<b>3,000</b>	696	30.2%
売上高当期純利益率*	1.9%	<b>2.3%</b>		
一株利益	103.70円	<b>134.83円</b>	31.13円	30.0%
一株配当	25.00円	<b>40.00円</b>	15.00円	60.0%
配当性向	24.1%	<b>29.6%</b>		
為替レート：米ドル	145.31円/\$	<b>145.00円/\$</b>		
：ユーロ	157.70円/€	<b>155.00円/€</b>		

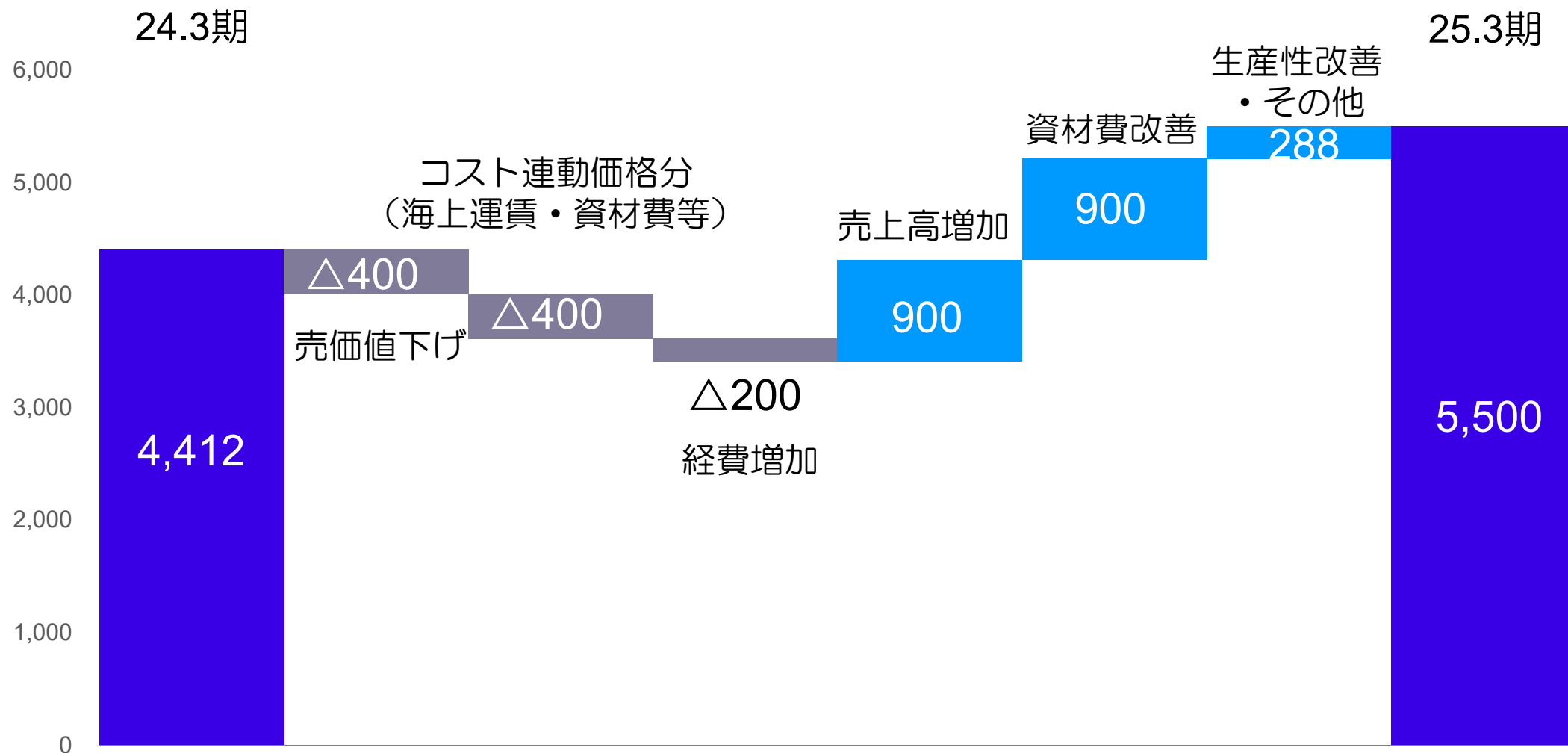
\* . 親会社株主に帰属する当期純利益、売上高親会社株主に帰属する当期純利益率

セグメント	今期の見通し	売上高予想
SP (スピーカ) 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ パートナー戦略をさらに推進し、ターゲット顧客と位置付けた重要顧客に対し、製品の開発段階から当社の有する新技術や付加価値を提案し、車載市場での地位を盤石化</li> </ul>	1,100億円
MA (モバイルオーディオ) 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ イヤホン関連では完成品ビジネスとイヤホンドライバの両軸で推進</li> <li>▶ アクチュエータは競争厳しいが、品質を武器に受注確保</li> <li>▶ 研究開発型ビジネスは継続するが、波があり時間も要することから、将来性を見極め戦略の見直しを検討</li> </ul>	120億円
その他事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 接近通報音を扱う小型音響部品事業については、引き続き需要は好調で、不採算ビジネスも改善</li> <li>▶ フォステクス事業は価格戦略見直しで売上改善・赤字解消</li> </ul>	80億円※

※その他事業の売上高は内部取引調整後



（百万円）



中間配当20円、期末配当20円 通期40円を予定

## 【配当方針】

企業価値の向上を経営課題としつつ、業績に対応した利益配分と長期的な視野に立った内部留保の充実との調和を図りながら、配当性向30%を目途としています。

	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期予
一株利益	△148.47円	△315.53円	38.23円	103.70円	<b>134.83円</b>
一株配当 (中間・期末)	15円 (10円・5円)	10円 (10円・0円)	20円 (10円・10円)	25円 (10円・15円)	<b>40円 (20円・20円)</b>
配当性向	—%	—%	52.3%	24.1%	<b>29.6%</b>

1

## ・ 不採算拠点・事業のテコ入れ等の構造改革

- 不採算の解消に向け、タイ工場・ベトナム工場の生産性見直し、小型音響部品関連の中国での業務委託を内製化、FOSTEXの価格戦略等見直し

2

## ・ パートナー戦略深化による採算向上

- 車載ビジネスの核となるパートナー戦略を推進。ターゲット顧客に対し、開発段階での付加価値提案によりビジネス伸長と採算向上を実現

3

## ・ コスト連動性価格の推進による安定収益

- 海上運賃・資材費相場等との連動性を高めたコスト連動価格を多数の顧客と合意し、相場変動に左右されにくい収益体質に改善

4

## ・ グローバルロジスティクス機能強化による適切な在庫管理

- 有事においても、適切な在庫管理と機動的な輸送オペレーションの実践によりコストを最小限に抑制

## Ⅲ.次期中期事業計画における成長戦略の方向性

---

## 【基本方針】

- 次期中期事業計画（2025/4～2028/3）について、成長戦略の方向性を策定
- これに加え、資本政策等とセットでPBR改善を目指す
- 詳細は2024/11公表予定

## 【目指す姿】

モビリティ関連ビジネスにおける次期中期事業計画期間の自動車市場の  
予想成長率（約9%）を上回る中期売上高成長率の実現（20%以上の売上増加）

コンシューマ関連ビジネスで、モビリティ関連ビジネスに次ぐ柱の育成

## モビリティ関連ビジネス

※1 オーディオブランドを有するTier1向け車載スピーカー

※2 車載シートのマッサージ、音響振動等を実現するアクチュエータ

※3 韓国子会社ESTec製品

### 重点戦略

次世代モビリティにおいて、豊かで快適な空間・楽しさ・喜び・安心安全を提供

### 戦術

長年磨き上げた車載向けスピーカ技術を使って、次世代車室内音響空間 / 次世代HMI / 車内外警告音等で付加価値向上を図り、且つ自動車1台あたりの搭載数を増加させる

### <主要施策>

- ・ターゲット顧客に対する車室内音場作りへの付加価値提案活動強化
- ・ブランデッド※1、プレミアムレベルにフォーカスした販売推進による搭載数拡大・収益性向上
- ・OEM、Tier1向けに車室内スピーカ・車室外スピーカ・HMI用アクチュエータを併せて展開

### <拡販製品>

- ・車載用音響スピーカ
- ・アクチュエータ（車載音響用 / シート用※2 / HMI用）
- ・接近通報・警告用スピーカ（AVASスピーカ / AVASシステム / Horn付AVASシステム / eCallスピーカ）
- ・コックピット用高音質スピーカ
- ・加速度センサー、マイクモジュール、ADP等製品用向け基板モジュール※3

## コンシューマ関連ビジネス

※4 新規長期収益基盤確立プロジェクト  
※5 韓国子会社ESTec製品

### 重点戦略

豊かで快適な空間・楽しさ・喜び・安心安全を軸にモビリティ関連ビジネスに次ぐ柱を構築

### 戦術

総合的な製品設計力と進化を続ける独自技術でより付加価値の高い  
完成品ビジネスの拡大と新事業の創出で収益性向上を図る

## <Beyond2025※4 における3つの柱>

### ライフスタイル | パーソナルオーディオ

今後の拡販を目指す平面振動板技術（RP TECHNOLOGY）を活用したドライバも含めたワイヤレスヘッドセット完成品OEM事業への本格参入、およびホームオーディオ分野※5（薄型プレミアムTV用スピーカ / サウンドバー等の複合回路製品）でのビジネス拡大

### ライフソリューション | 生体センシングヘッドセット

学術機関、企業から試用され始めているRobin生体センシングイヤホンを医療・リハビリ・介護・生活支援・運転支援関連センシング用途で実用化、事業化

### ライフエンハンスメント | アクチュエータ

これまでのアクチュエータに加え、より広帯域振動、高出力化を実現するSmart Vibration Actuatorの市場ポジションを確立し、より深い没入感を提供

## 現状分析（PBR低位の原因）

【ROEが低位】業績はV字回復基調にあるものの、収益率がいまだ低く、更なる安定化に課題  
在庫圧縮等によりキャッシュフローは大幅改善するも、資金効率性に改善の余地

【PERが低位】上記に加え、投資家が期待する成長戦略が描けていない

ROEは株主資本コスト（CAPM 概ね7~8%程度）を大きく下回り、  
投資家の期待に応えることができず、結果としてPBRが低位（0.5倍程度）

年度	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
ROE (%)	2.9%	△6.4%	△14.4%	1.7%	4.2%
PER(倍)	16.1	-	-	30.1	12.2
期末株価 (円)	1,112	1,306	723	1,150	1,265
1株当たり純資産 (円)	2,369	2,276	2,126	2,302	2,607
PBR (倍)	0.5	0.6	0.3	0.5	0.5

## 対応策

- 適切な資源配分を行い、持続的な収益性向上に向けた成長戦略を策定し実行（ROE改善）
- 得られた収益で株主還元を強化することで、株主・投資家の期待に応える（PER・PBR改善）

次期中期事業計画の詳細版公表時に上記の具体的対応策も公表予定



## IV. 參考資料

---

社是は「誠実」、ビジョンは「未来社会に音で貢献する」

商号	フォスター電機株式会社
英文商号	Foster Electric Company, Limited
代表者	代表取締役社長CEO 岸 和宏
創業	1949年6月20日
本社所在地	〒196-8550 東京都昭島市つつじが丘一丁目1番109号
上場市場	東京証券取引所 市場第二部上場 (1962年5月) 市場第一部指定 (1999年9月) プライム市場へ移行 (2022年4月)
資本金	67億7千万円 (2024年3月31日現在)
事業内容	スピーカ及び音響機器・電子機器の製造、販売
従業員数	連結：15,752名 (中国・番禺の製造委託先の従業員数を含む) 単体：413名 (連結、単体ともに2024年3月31日現在)

## ODM・OEMを中心に、独自のアナログ技術の音響製品を供給

### SP（スピーカ）事業

- 車載用スピーカ・スピーカシステム、オーディオ用及びテレビ用スピーカ・スピーカシステム等

車載用スピーカ



車載用スピーカシステム



TV用スピーカ



### MA（モバイルオーディオ）事業

- ヘッドホン/ヘッドセット、イヤホンドライバ及び振動アクチュエータ等

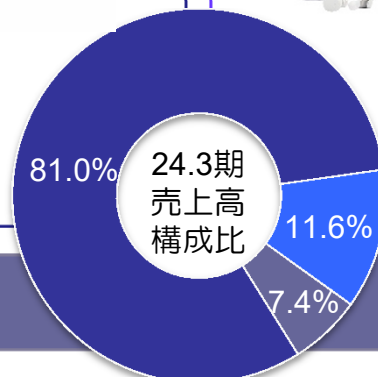
ヘッドホン/ヘッドセット



イヤホンドライバ



アクチュエータ



### その他事業

- 警報音用ブザー・サウンド製品  
フォステクスブランドの製品、  
物流サービス等

小型音響部品



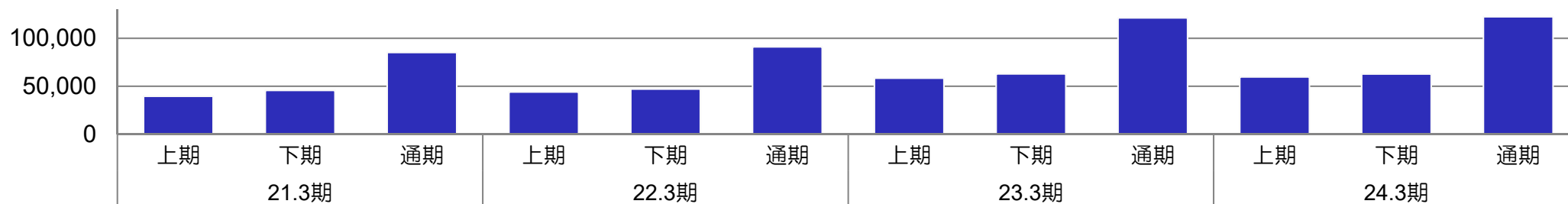
フォステクス製品



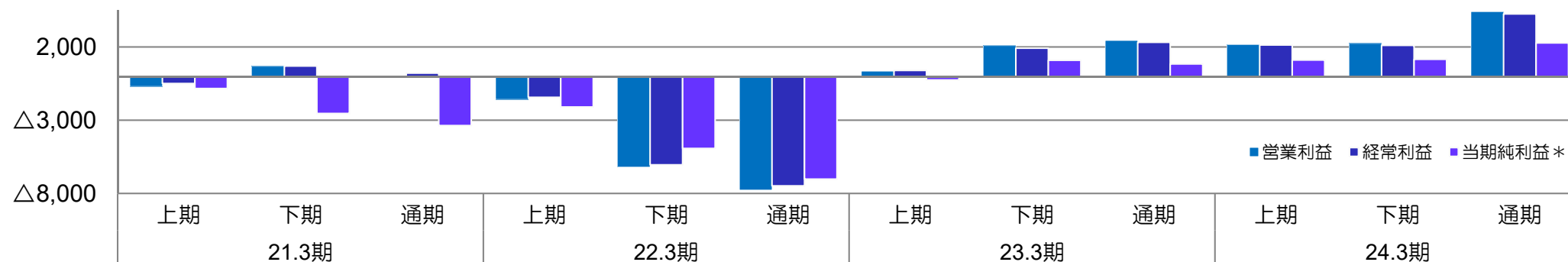
## 業績表（百万円）

	21.3期			22.3期			23.3期			24.3期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	39,528	45,692	85,220	43,976	47,130	91,106	58,385	62,953	121,338	59,701	62,746	122,447
営業利益	△688	688	0.7	△1,568	△6,189	△7,757	351	2,094	2,445	2,165	2,247	4,412
経常利益	△488	707	219	△1,433	△6,040	△7,473	404	1,923	2,327	2,139	2,166	4,305
当期純利益*	△829	△2,534	△3,363	△2,093	△4,924	△7,017	△249	1,097	848	1,114	1,190	2,304
営業利益率	△1.7%	1.5%	0.0%	△3.6%	△13.1%	△8.5%	0.6%	3.3%	2.0%	3.6%	3.6%	3.6%
経常利益率	△1.2%	1.5%	0.3%	△3.3%	△12.8%	△8.2%	0.7%	3.1%	1.9%	3.6%	3.5%	3.5%
当期純利益率*	△2.1%	△5.5%	△3.9%	△4.8%	△10.4%	△7.7%	△0.4%	1.7%	0.7%	1.9%	1.9%	1.9%

## 売上高（百万円）



## 利益（百万円）



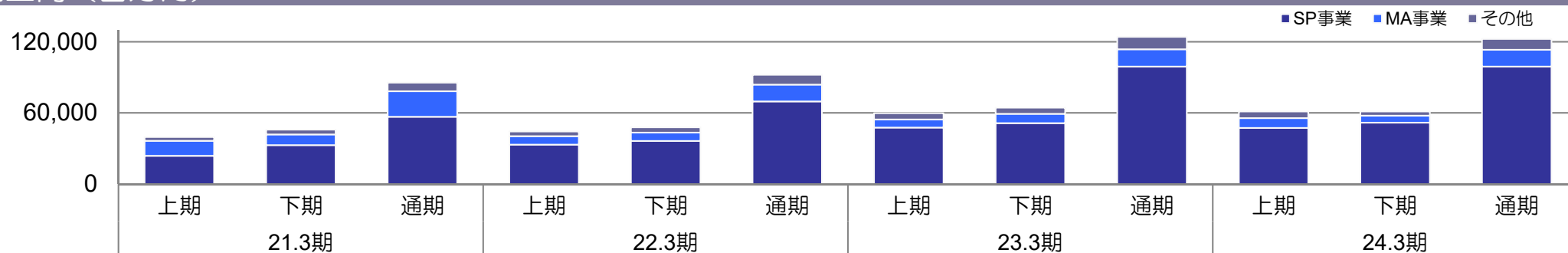
\*親会社株主に帰属する半期純利益及び当期純利益、売上高親会社株主に帰属する半期利益率及び当期純利益率

# 半期及び通期 セグメント別業績（連結）

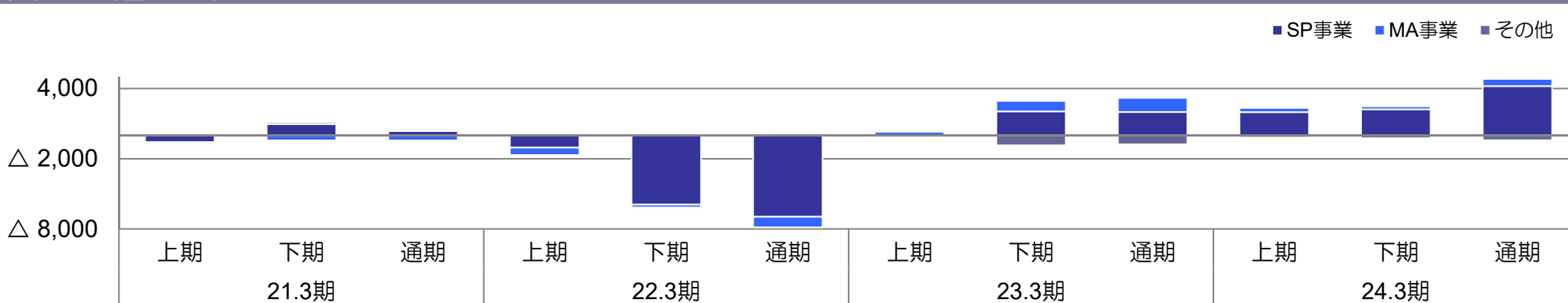
## 業績表（百万円）

	21.3期			22.3期			23.3期			24.3期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高												
SP事業	23,892	32,844	56,736	33,294	36,382	69,676	47,641	51,446	99,087	47,372	51,803	99,175
MA事業	12,593	8,981	21,574	7,137	7,090	14,227	6,841	7,850	14,691	8,255	5,942	14,197
その他	3,176	4,068	7,244	3,880	4,450	8,330	5,286	5,117	10,403	5,574	3,500	9,074
営業利益												
SP事業	△584	961	377	△1,045	△5,910	△6,955	△51	2,055	2,004	1,984	2,234	4,218
MA事業	5	△429	△424	△631	△265	△896	317	886	1,203	362	245	607
その他	△109	156	47	108	△14	94	85	△847	△762	△181	△231	△412

## 売上高（百万円）



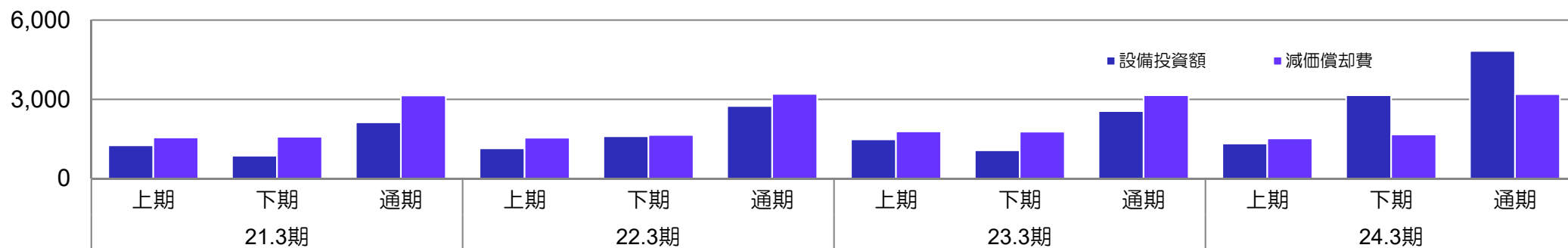
## 営業利益（百万円）



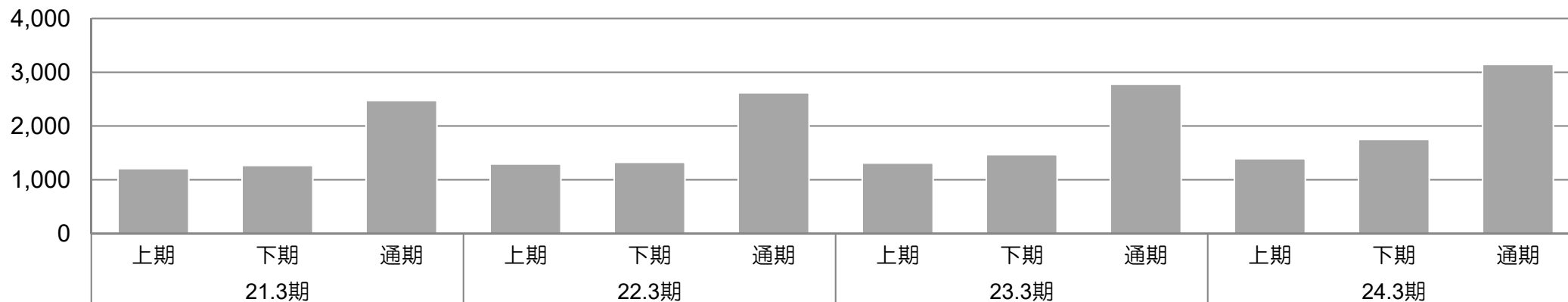
## 設備投資額、減価償却費及び研究開発費（百万円）

	21.3期			22.3期			23.3期			24.3期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
設備投資額	1,263	868	2,131	1,146	1,603	2,749	1,484	1,075	2,559	1,329	3,481	4,810
減価償却費	1,560	1,588	3,148	1,552	1,657	3,209	1,788	1,777	3,565	1,523	1,674	3,197
研究開発費	1,209	1,267	2,476	1,294	1,325	2,619	1,313	1,467	2,780	1,394	1,753	3,147

## 設備投資額、減価償却費（百万円）



## 研究開発費（百万円）

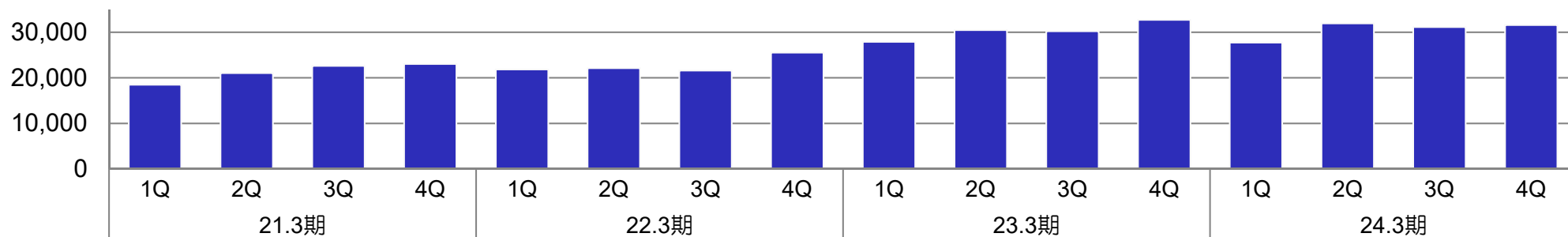


# 四半期業績（連結）

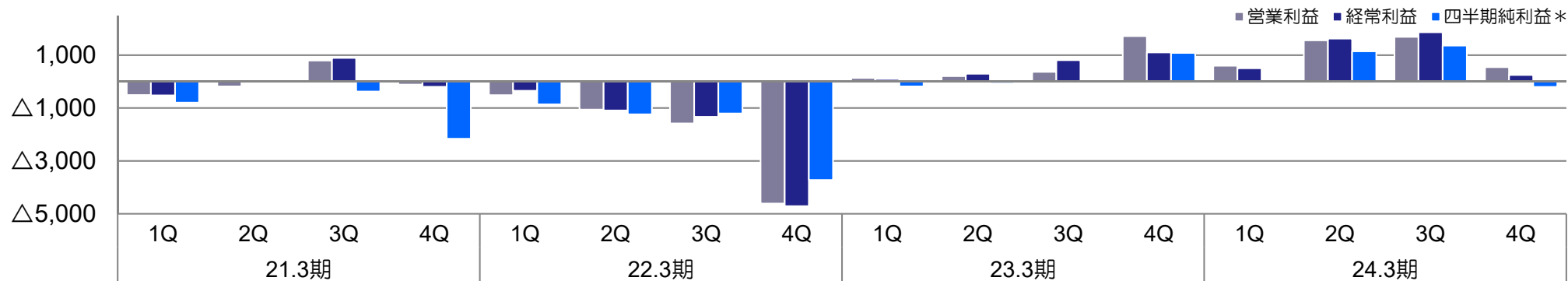
## 業績表（百万円）

	21.3期				22.3期				23.3期				24.3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	18,480	21,048	22,641	23,051	21,860	22,116	21,595	25,535	27,894	30,491	30,227	32,726	27,750	31,951	31,143	31,603
営業利益	△507	△181	799	△110	△511	△1,057	△1,578	△4,611	139	212	372	1,722	602	1,563	1,697	550
経常利益	△518	30	900	△193	△345	△1,088	△1,329	△4,711	102	302	815	1,108	509	1,630	1,868	298
四半期純利益*	△791	△38	△373	△2,161	△857	△1,236	△1,205	△3,719	△183	△66	8	1,089	△36	1,150	1,366	△176
営業利益率	△2.7%	△0.9%	3.5%	△0.5%	△2.3%	△4.8%	△7.3%	△18.1%	0.5%	0.7%	1.2%	5.3%	2.2%	4.9%	5.4%	1.7%
経常利益率	△2.8%	0.1%	4.0%	△0.8%	△1.6%	△4.9%	△6.2%	△18.4%	0.4%	1.0%	2.7%	3.4%	1.8%	5.1%	6.0%	0.9%
四半期純利益率*	△4.3%	△0.2%	△1.6%	△9.4%	△3.9%	△5.6%	△5.6%	△14.6%	△0.7%	△0.2%	0.0%	3.3%	△0.1%	3.6%	4.4%	△0.6%

## 売上高（百万円）



## 利益（百万円）



\*親会社株主に帰属する四半期純利益、売上高親会社株主に帰属する四半期純利益率

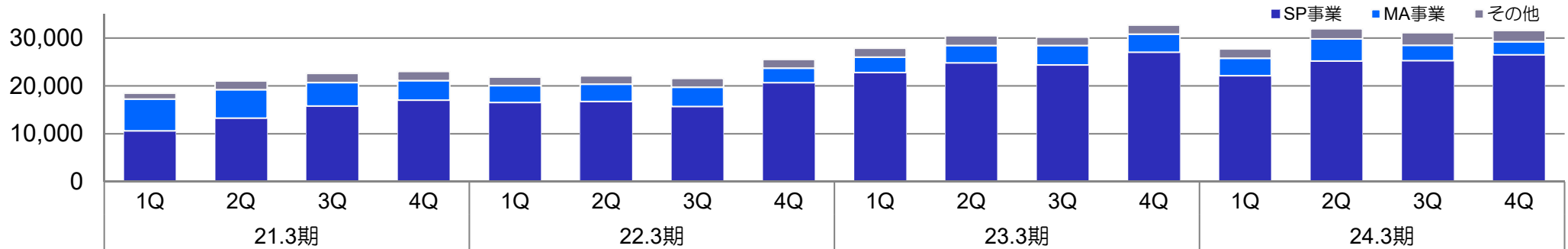
# セグメント別四半期業績（連結）

## 業績表（百万円）

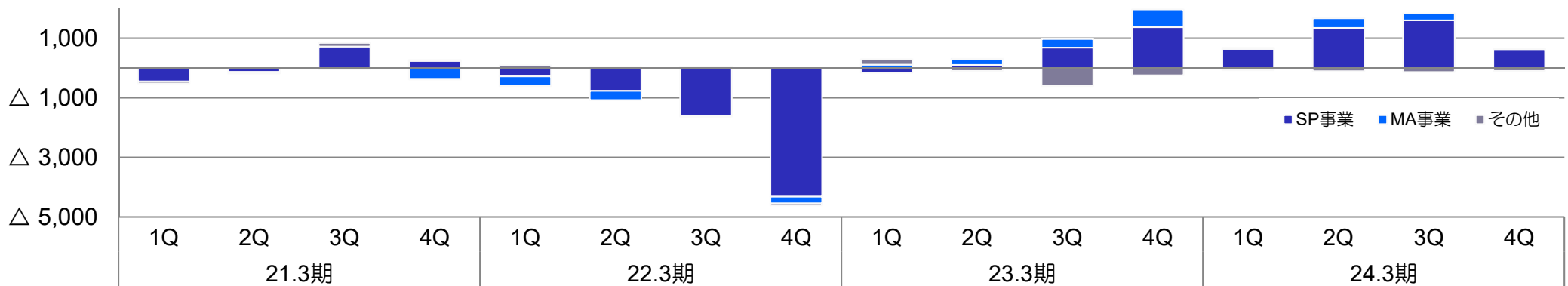
	21.3期				22.3期				23.3期				24.3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高																
SP事業	10,619	13,273	15,802	17,042	16,553	16,741	15,703	20,679	22,804	24,837	24,396	27,050	22,154	25,218	25,277	26,526
MA事業	6,633	5,960	4,909	4,072	3,508	3,629	4,044	3,046	3,213	3,628	4,066	3,784	3,644	4,611	3,222	2,720
その他	1,227	1,815	1,930	1,937	1,798	1,747	1,847	1,810	1,875	2,026	1,766	1,891	1,951	2,122	2,644	2,357
営業利益																
SP事業	△448	△136	722	239	△279	△766	△1,593	△4,317	△156	105	684	1,371	639	1,345	1,601	633
MA事業	6	△1	△46	△383	△323	△308	△39	△226	113	204	291	595	37	325	230	15
その他	△65	△44	123	33	91	17	55	△69	182	△97	△603	△244	△74	△107	△134	△97

\*その他事業の売上高はセグメント間取引消去後の数値にて表示

## 売上高（百万円）



## 営業利益（百万円）





## 貸借対照表 (百万円)

	21.3期				22.3期				23.3期				24.3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
流動資産合計	55,066	55,396	58,394	59,040	59,947	62,814	62,738	67,143	75,694	83,095	78,930	73,893	74,035	75,378	77,901	78,925
現金・預金	17,985	21,401	21,987	15,470	18,556	15,499	13,863	10,846	11,422	14,366	13,525	13,646	16,218	16,882	18,868	20,216
受取手形・売掛金	15,351	16,018	16,794	16,945	16,571	17,196	16,020	19,351	23,132	25,075	24,018	25,470	24,496	25,836	24,581	25,799
その他	21,730	17,977	19,613	26,625	24,820	30,119	32,855	36,946	41,140	43,654	41,387	34,777	33,321	32,660	34,452	32,910
固定資産合計	20,524	20,160	18,606	18,193	18,309	18,247	18,411	19,005	20,098	20,345	19,301	18,977	19,813	21,902	23,458	23,822
有形固定資産合計	17,673	17,312	15,787	15,213	15,234	15,190	15,354	15,614	16,640	16,809	15,702	15,030	15,846	17,582	18,951	19,377
無形固定資産合計	201	198	198	189	196	194	205	203	216	217	207	214	221	252	255	336
投資その他の資産合計	2,649	2,649	2,621	2,790	2,877	2,863	2,851	3,187	3,241	3,318	3,391	3,732	3,745	4,067	4,251	4,108
資産合計	75,590	75,556	77,001	77,233	78,256	81,062	81,150	86,148	95,793	103,441	98,232	92,871	93,849	97,280	101,360	102,747
流動負債合計	15,241	15,623	18,041	18,738	19,953	23,931	25,098	32,889	39,332	44,507	41,988	34,799	33,055	31,854	32,990	31,899
支払手形・買掛金	5,604	6,296	8,491	8,735	8,969	9,300	7,705	11,179	12,327	11,881	11,342	9,380	9,876	11,714	12,734	12,169
短期負債・社債合計	4,479	3,669	3,697	4,084	5,247	8,208	10,525	13,065	19,660	24,845	21,979	17,456	15,928	11,782	12,223	11,346
その他	5,158	5,658	5,853	5,919	5,737	6,423	6,868	8,645	7,345	7,781	8,667	7,963	7,251	8,358	8,033	8,384
固定負債合計	3,144	2,916	2,699	2,501	2,341	2,067	1,829	1,627	1,495	1,439	1,469	1,556	1,809	2,741	5,758	6,529
長期借入金・社債	1,850	1,606	1,362	1,118	875	631	450	300	150	0	0	0	0	0	3,175	3,781
その他	1,294	1,310	1,337	1,383	1,466	1,436	1,379	1,327	1,345	1,439	1,469	1,556	1,809	2,741	2,583	2,748
純資産合計	57,205	57,015	56,260	55,993	55,962	55,063	54,222	51,632	54,965	57,494	54,774	56,515	58,984	62,684	62,611	64,319
株主資本	54,201	54,169	53,568	50,837	49,868	48,646	47,177	43,409	43,226	43,163	42,995	44,045	43,785	45,011	46,154	45,989
その他の包括利益累計額	△1,952	△2,132	△2,486	△198	473	788	1,570	3,753	7,293	9,436	6,587	7,050	9,771	11,654	9,943	12,014
非支配株主持分	4,956	4,978	5,178	5,354	5,621	5,628	5,474	4,469	4,445	4,894	5,231	5,419	5,426	6,018	6,512	6,314
負債・純資産合計	75,590	75,556	77,001	77,233	78,256	81,062	81,150	86,148	95,793	103,441	98,232	92,871	93,849	97,280	101,360	102,747

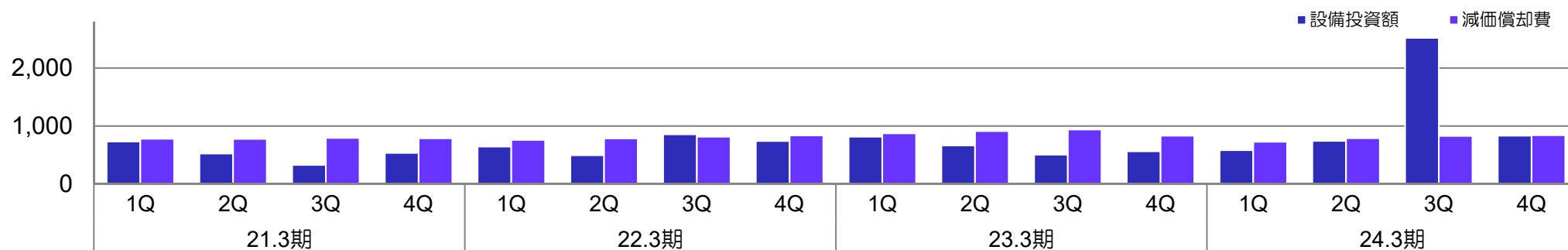
## キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

	21.3期				22.3期				23.3期				24.3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業活動によるCF	△2,309	3,626	960	△1,538	△2,351	△3,840	△3,309	△3,267	△5,612	△1,402	2,959	4,409	5,334	5,553	1,553	2,988
投資活動によるCF	△1,246	△351	△144	△219	△228	△1,172	△970	△701	△824	6	△443	△60	△537	△800	△2,776	△4,426
財務活動によるCF	△691	△1,004	△384	△545	658	2,709	2,548	856	4,964	3,861	△2,563	△4,486	△2,584	△4,605	3,502	△753
CFに係る換算差額	△375	△40	△76	778	201	42	△12	551	691	478	△680	258	358	516	△293	357
CFの増減額	△4,622	2,231	357	△1,523	△1,720	△2,260	△1,743	△2,561	△781	2,943	△727	121	2,571	664	1,986	△1,834
CFの期末残高	19,307	21,539	21,895	20,373	18,653	16,392	14,650	12,089	11,308	14,252	13,525	13,646	16,218	16,882	18,868	17,034

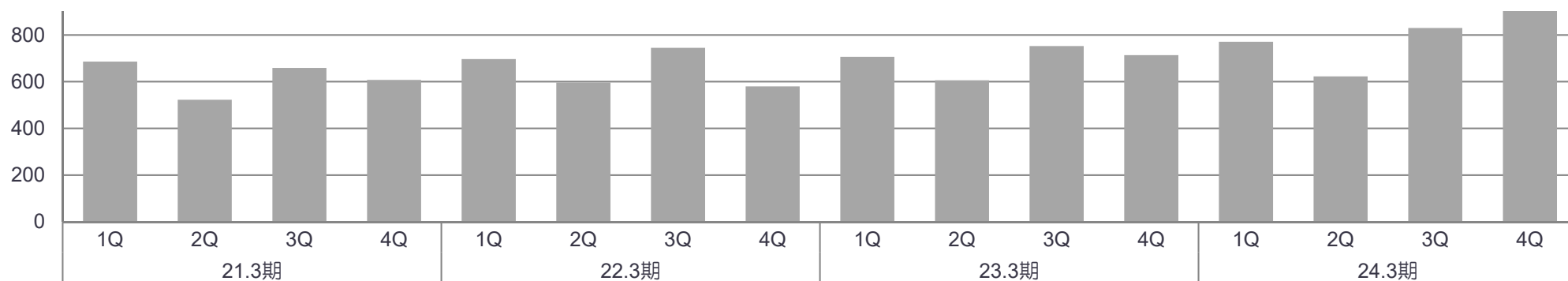
## 設備投資額、減価償却費及び研究開発費（百万円）

	21.3期				22.3期				23.3期				24.3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
設備投資額	734	528	330	538	648	498	859	744	817	667	509	566	584	745	2,646	834
減価償却費	781	779	797	791	763	789	818	839	875	913	941	836	731	792	830	844
研究開発費	686	523	659	608	697	597	745	580	707	606	753	714	771	623	830	923

## 設備投資額、減価償却費（百万円）



## 研究開発費（百万円）

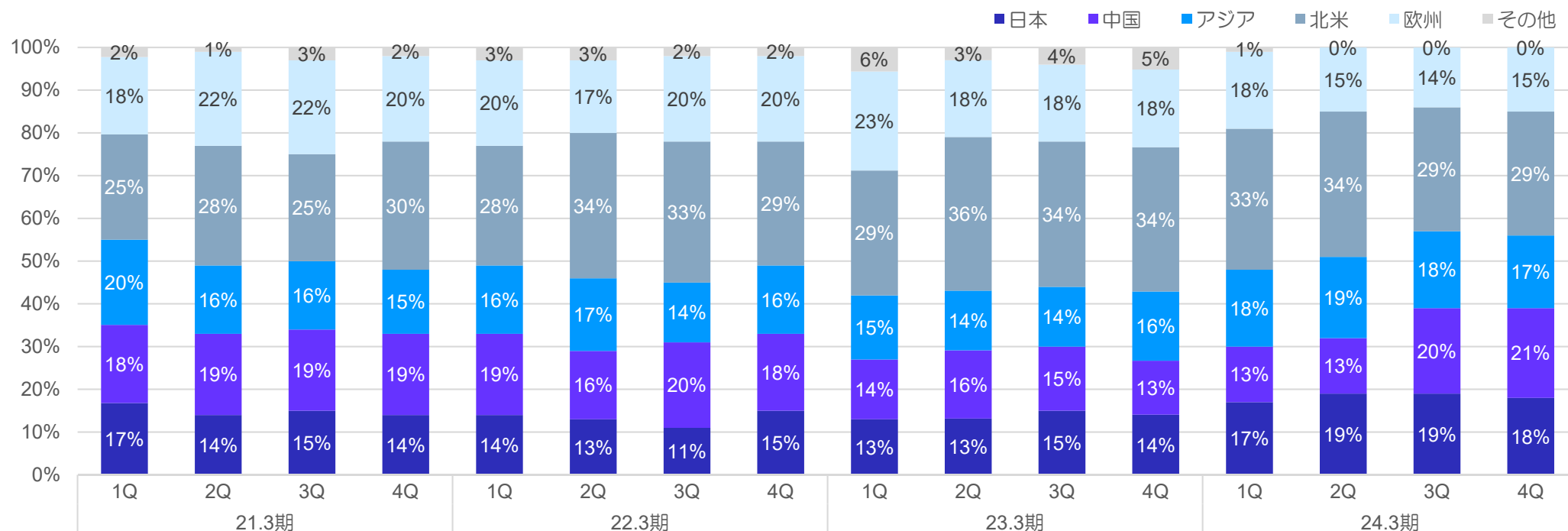


# 四半期 車載用スピーカ地域別売上高構成比



車載用スピーカ地域別売上高構成比

	21.3期				22.3期				23.3期				24.3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	17%	14%	15%	14%	14%	13%	11%	15%	13%	13%	15%	14%	17%	19%	19%	18%
中国	18%	19%	19%	19%	19%	16%	20%	18%	14%	16%	15%	13%	13%	13%	20%	21%
アジア	20%	16%	16%	15%	16%	17%	14%	16%	15%	14%	14%	16%	18%	19%	18%	17%
北米	25%	28%	25%	30%	28%	34%	33%	29%	29%	36%	34%	34%	33%	34%	29%	29%
欧州	18%	22%	22%	20%	20%	17%	20%	20%	23%	18%	18%	18%	18%	15%	14%	15%
その他	2%	1%	3%	2%	3%	3%	2%	2%	6%	3%	4%	5%	1%	0%	0%	0%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
売上高合計 (百万円)	8,478	11,898	13,155	14,985	13,652	13,295	13,588	17,538	18,767	21,216	20,915	24,349	19,642	22,327	21,799	23,386



# 当社グループ製造拠点

## ミャンマー

FOSTER ELECTRIC (THILAWA) CO., LTD.

## 韓国

ESTec CORPORATION

## 中国

ESTec ELECTRONICS (JIAXING) CO., LTD.

豊達音響（河源）有限公司

広州市番禺区旧水坑豊達電機廠

广州富星電声科技股份有限公司

## ベトナム

ESTec PHU THO CO., LTD.

FOSTER ELECTRIC (BAC NINH) CO., LTD.

FOSTER ELECTRIC (DA NANG) CO., LTD.

FOSTER ELECTRIC (QUANG NGAI) CO., LTD.

FOSTER ELECTRIC (VIETNAM) CO., LTD.

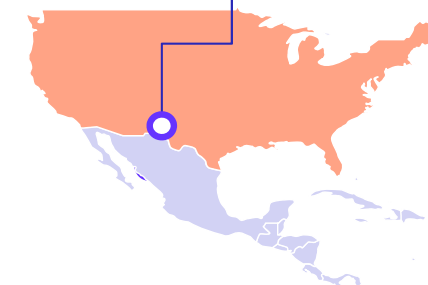
ESTec VINA CO., LTD.

## タイ

FSK(Thailand) Co.,Ltd.

## 米国

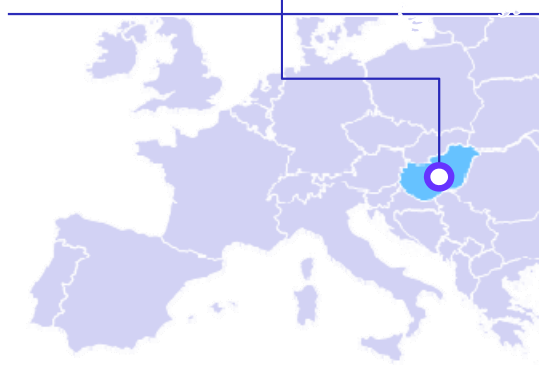
EL PASO OPERATIONS



## ハンガリー

(2024年度下期量産開始予定)

FOSTER ELECTRIC (HUNGARY) Kft.



(2024年3月31日現在)

**【注記事項】**

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要因に関する現時点における仮定等に基づいて算定しておりますが、実際の業績結果は、当社グループの事業領域を取り巻く経済状況・関連市場やOEM得意先の景況、国内外の競合状況・価格競争の動向、原材料市況、為替相場、海外展開上のリスク、国内外の法規制、災害・事故、株価等、多分に今後様々な要因によって上記予想・見込みとは異なるものとなる可能性があります。

**【お問合せ先】**

フォスター電機株式会社 IR・ガバナンス統括部 IR課

TEL : 042-546-2305 / FAX : 042-546-2317

〒196-8550 東京都昭島市つつじが丘一丁目1番109号